

昭和初期、徳守神社の大神輿みこし

写真提供・江見写真館

徳守神社の秋の祭礼で巡行中の大神輿を写した昭和初期の写真と思われます。

大神輿はちょうど津山警察署の前に差し掛かったところで、大勢の見物客やそれを整理する警察官の姿が見えます。当時、津山警察署は田町（現在の岡山県津山教育事務所）にありました。



修復を終え、巡行する大神輿

現在は、徳守神社の奉賛会が大神輿の担ぎ手を担っています。大正2年（1913）に発行された「徳守神社誌」によると、大神輿は元々、小田中新田（神田）の氏子のみが担ぐことを許されていました。特定の人にしか担ぐことを許されていなかったことに不満があったのか、明治29年（1896）の祭礼では、巡行途中の安岡町で、酒に酔った群衆が大神輿を奪うという事件がありました。しかし、酔った輩にとつて大神輿は、やはり相当重かったのでしょうか、宮脇町まで来て大神輿を地面に落としてしまい、大神輿は破損してしまいました。

時は流れ、昭和40年代後半、担ぎ手の役目は、人手不足のため、小田中新田の氏子から奉賛会へと受け継がれます。

今年、平成の大修復が完了。黄金色の輝きを取り戻した大神輿の御巡行が行われました。この大神輿が祭りの歴史をこれからも刻んでいくことでしょう。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

問い合わせ先

〒708-0022 津山市山下92
津山郷土博物館 ☎22-4567

表紙について

マーラー交響曲 第2番 「復活」演奏会

9月25日、津山文化センター

津山国際総合音楽祭の初回に公演され、今回の音楽祭のフィナーレを飾ったマーラー交響曲第2番「復活」。

壮麗な演奏と重厚な歌声にしばらく拍手と喝采が止みませんでした。

つ・ぶ・や・き

編集室



健康づくりに運動は重要だろう。やっぱりランニングが基本かな。ランニングは速度や距離よりも時間が重要みたいだな。いざ出発。(はあ。はあ。) 快調、快調。(ふう。ふう。) ペースを崩さないようにと。(げえ。げえ。) 何分走ったかな。おや、海が見えて来…た？ここ、どこ？(～)

より良い広報紙作りのために市民の皆さんの声を伺おうと、2千人の方に広報アンケートを送りました。回答が返ってくるのが楽しみです。大好きな人からの手紙の返事を待っているような気持ちになっています。できるだけ多くのご意見をお待ちしています。(G)

ごんごバスの新路線「小循環線」で運行される低床型バスに試乗させてもらいました。乗り降りのしやすさにびっくり！路線も城西と城東地区に乗り入れていて観光客にも更に便利に。今度、子どもを連れてお弁当片手に、ちょっとした旅行気分を味わってみよう。(修)

編集・発行（毎月10日発行）

津山市総合企画部秘書広報室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページ
で閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページ

広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（雑誌）にご協力ください



東日本大震災復興支援運動「Proud! Japan」について

Proud! Japanというロゴマークとともに、「被災地の皆さんは日本の誇りです！だからみんなが応援しています」というエールを日本全国から被災地に送り、復興の力にしてみようという運動です。